

平成29年度

泉小学校 グランドデザイン

佐久市学校教育の目指す

子ども像

- 「夢や希望を持って輝き、ともに生きる子ども」
- すべての子どもが意欲をもって学習に参加し、ともに学び合う授業づくり
- 小から中へと学びをつなげていく教育の推進
- コスモスプラン
(読むこと、書くこと、行うこと)

学校教育目標

「 清く ・ 正しく ・ たくましく 」

- ① 素直で明るく、優しい心を持った子 (情)
- ② よく考えて正しく判断し、行動できる子 (知)
- ③ 丈夫な体と粘り強い心を持った子 (意) (体)

保護者・地域の願い

- 安心して子どもを託せる学校
- 子どもたちが日々楽しみにする学校
- 地域と共にある学校
- ★自分たちの地域に誇りと愛情を持ち、心豊かに育てほしいと願う。

保護者・地域との連携

- 「早寝、早起き、朝ご飯」運動の推進
- デバイスコントロールへの取り組み
- コミュニティ・スクールによる地域と協働した学習支援

めざす子ども像

しっかり聞いて、はっきり話す泉の子

自分で考えて、行動する泉の子

すすんで学び、力をのばす泉の子

重点目標

学力向上

- 学習内容の確実な定着を図り、学力差を縮める(単元テスト、6年:全国学力・学習状況調査、5・6年:PDCAテスト、全校:CRT検査で、児童が自分で決めた目標を達成できるようにする)
- 児童が身を乗り出して「前のめりに学ぶ」授業を創造するなかで、思考力・判断力・表現力を育てる

児童理解と心の居場所づくり

- すべての児童が安心して学校・学級生活を送れるようにする
- いじめや不登校を生まない学校にする

落ち着いた学校・学級づく

- 児童が安心して過ごせるように、落ち着いた雰囲気のある学校・学級にする

そのために

- 1 静かに話を聞き、自分の思いや考えを伝える指導
- 2 すべての児童の力が伸び、ともに学び合う授業づくり
 - ・児童の追究意欲を生み出す学習問題、追究の見通しが持てる学習課題の設定
 - ・自分の考えを言葉や図、式等で表現する時間と場の確保
 - ・友だちと考え合い、深め合う場の充実(ペア、グループ、全体)
 - ・見返しや定着・発展問題を行い、ねらいを達成させる「見とどけ」の指導
- 3 学習内容の定着指導
 - ・単元テストでの定着状況把握と指導
 - ・教科書やドリル等を用いた繰り返し学習
 - ・ドリル時間の設定と個別指導
 - ・算数検定(毎学期)、漢字検定(年1回)の実施
- 4 教師の指導力向上のための研修
 - ・授業づくり、学習内容の定着指導を考え合う研修
 - ・学力調査分析にもとづく授業づくり研修
- 5 家庭学習の充実、その他
 - ・これまでの学年のクリア・チャレンジ問題を用いた継続指導、授業と連動させた家庭学習指導(10分×□学年の学習時間の確保)
 - ・学習支援ボランティア「花まるいずみ」、家庭学習支援ボランティアによる支援

- 1 人との温かい関係をつくる「全校あいさつ運動」の推進
- 2 異年齢集団による交流活動の推進
 - ・低学年児童と高学年児童との交流(1・6年、2・5年、3・4年)
 - ・縦割りなかよし清掃
 - ・おにぎりの日の実施
 - ・児童会祭り
 - ・読み聞かせ、ペア読書
- 3 Q-U検査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の分析・活用
 - ・年2回、学級づくりのあり方についての職員研修の実施
- 4 ソーシャル・スキルトレーニングの実施
- 5 いじめ防止のための総合的な取り組み(毎月アンケートの実施)
- 6 支援を必要とする児童へのチーム支援
 - ・いじめ不登校等対策委員会を機能させた、いじめ不登校の早期発見、早期対応
 - ・児童を理解し適切な支援のあり方を考える、児童理解の時間の設定と校内支援会議の推進
- 7 スクールカウンセラー、スクールメンタルアドバイザー等との連携

- 1 静かな時間をつくる指導(読書、清掃、教室移動等)
- 2 靴のかかとを揃える指導
- 3 健やかな心身を育てる取り組み
 - ・SAQラダートレーニングによる巧緻性(体をコントロールする能力)の育成
 - ・体ほぐしの運動による心と体の調整
 - ・学級の係活動、児童会活動の充実と自己肯定感、自己有用感の醸成(役割を果たす姿を承認して、児童のよさを伸ばす指導)

新学習指導要領実施に向けた準備(特設委員会、職員研修)

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
- ・外国語活動・英語指導
- ・ドリル時間の活用 等

コミュニティ・スクールの推進

- ～地域とともにある学校づくりに向けて～
- ・運営委員会、推進委員会の設置
- ・学校支援ボランティアの組織化 等